

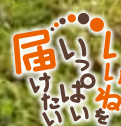


特集

令和8年産「秋田おばこ米」収穫開始

- まちかどNewsピックアップ 6
- キラリ☆スマイル～仙北市エリア～ 8
- JAからのお知らせ 12

ぶどう生産者の鈴木さん(紹介は2ページ)



JA遊休資産の有効活用者募集について

当組合が所有する次の遊休資産を有効活用いただける方を公募いたします。

対象物件 1：荒川 大豆乾燥施設（建物・土地）

区分	JA使用経緯	所在地	構造・地目	面積(m ²)
建物	乾燥施設	大仙市協和荒川字山ノ内64-1	鉄骨造	178.00
土地	上記施設敷地	大仙市協和荒川字山ノ内64-1	宅地	529.00

対象物件 2：旧大曲南支店敷地（土地）

区分	JA使用経緯	所在地	構造・地目	面積(m ²)
土地	事務所等敷地	大仙市角間川町字東上中町43他7筆	宅地	2,209.65

対象物件 3：旧Aコープせんや敷地（土地）

区分	JA使用経緯	所在地	構造・地目	面積(m ²)
土地	店舗・駐車場敷地	仙北郡美郷町土崎字上野乙1-194	宅地	3,247.91

※条件等の詳細については、総務課までご連絡ください。

※期間内に活用希望者がいない場合は、その後の希望者に先着順で対応いたします。

受付期間

令和8年9月15日(火)～令和8年9月29日(火)
8時30分～17時00分(土日祝日を除く。)

受付場所
(連絡先)

大仙市佐野町5番5号 総務部 総務課(総合本部2階)
TEL:0187-86-0850 FAX:0187-86-0911

もくじ

特集

令和8年産
「秋田おばこ米」
収穫開始！

一笑懸命
仙北市田沢湖神代 鈴木政一さん

JA遊休資産の
有効活用者募集について

まちかどNews
ピックアップ

キラリ☆スマイル
「仙北市エリア」

ドクターの健康クリニック

営農情報

JAからのお知らせ

みんなの広場
おたより／クロスワードパズル

おばこインフォメーション

おばこの農業者をクローズアップ

いっしょうけんめい
一笑懸命

プロフィール

妻の実家の祖父からぶどう栽培を引き継ぎ、シャインマスカット、藤稔、ピオーネなどのぶどう45アールと、「あかつき」「川中島白桃」などの桃30アールを栽培しています。仙北種なし大粒ぶどう部会に所属し、部会員との情報交換や技術研さんを重ねながら、品質の高いぶどうづくりに取り組んでいます。また、しゅしゅまる出荷者会員として、旬の果物を出荷しています。

仙北市田沢湖神代 鈴木政一さん(43歳)

ぶどうとの出会いが就農への道を開く

仙北市神代地域で、ぶどう栽培に情熱を注ぐ鈴木政一さん。45アールの園地で10品種を栽培し、今年で4年目を迎えました。中でも力を入れているのがシャインマスカットです。皮ごと食べられる手軽さに加え、大粒で糖度18度

生育を確認する鈴木さん

以上の甘さ、上品な香りとジュシーな味わいが魅力。鈴木さんは、二房一房に丁寧に手をかけ、品質の高いぶどうを育てています。

高校卒業後は農業とは無縁の仕事に就いていましたが、転機となったのは妻の実家で栽培されていたシャインマスカットでした。結婚を機に、妻の実家の祖父の農作業を手伝うようになり、ぶどうの成長を見守るうちにその奥深さに魅了され、「自分でも品質の良いシャインマスカットを作りたい」と思うようになったといいます。

栽培技術を「から学ぶため会社を退職し、令和2年4月から2年間、秋田県果樹試験場でシャインマスカットの栽培技術を学びました。令和4年4月に新規就農し、将来の農業経営を見据えてシャインマスカットを20アール新植。現在は「藤稔」「ピオーネ」

「シナノスマイル」など、10品種を手掛けています。

樹の力を引き出す、丁寧なぶどうづくり

鈴木さんがぶどうづくりで大切にしているのは、「果樹は人が作るのではなく、樹が果実を作っている」という考え方です。果樹は一度植えると長く付き合う永年作物。人ができるのは、樹が元気に育ち、本来の力を発揮できる環境を整えることだと考えています。樹の状態をよく観察し、生育に合わせて作業の適期や内容を見極めながら、一つ一つの工程を丁寧にこなしています。

房の形や粒の大きさ、鮮度の良さにもこだわり、摘房や着色、糖度管理、防除など、細かな管理を積み重ねています。天候や生育状況によって対応を変える難しさがある一方、「自分の作ったものをおいしいと喜んでもらえることが、ぶどうづくりの魅力」と話します。

今年は梅雨時期の長雨が硬核期と重なり、生理障害が発生しやすい環境となりました。「毎年、異常気象が続く、管理が難しいと感じています」と話す鈴木さん。それでも生育状況を細かく確認し、適切な対応を重ねたことで、被害を最小限に抑え、現在は順調に生育しています。

仙北種なし大粒ぶどう部会では、

地域ごとに異なる栽培環境や生育状況について情報交換を行い、技術を高め合っています。「二人で作るのではなく、部会の人みんなで産地を盛り上げていきたい」と話し、地域全体で品質の高いぶどうづくりを目指しています。

地域の果樹農業を盛り上げたい

鈴木さんにシャインマスカットを選ぶポイントを聞くと、「甘くておいしいものを選ぶなら、色に注目してほしい」と教えてくれました。鮮やかな緑色より、やや黄色みがかかった黄緑色がおススメ。実に張りツヤがあり、軸が緑色でみずみずしいもの、表面に白い粉のような「ブルーム」が付いているものも、新鮮さの目安です。「旬の時期に、ぜひ味わってほしい」と話す鈴木さん。今後は新しい品種にも挑戦し、地域の農業を盛り上げながら、「仙北市で果樹農業を始めたい」と思う人の目標となるような農家を目指しています。樹の力を信じ、その声に耳を傾けながら、日々の管理を積み重ねる鈴木さん。これからも新たな品種への挑戦を続け、地域とともに果樹農業の未来を切り拓いていきます。



順調に生育しているぶどう

特集

令和8年産 「秋田おばこ米」収穫開始！

黄金色に輝く稲穂が実り、いよいよ稲刈りの季節。収穫の喜びに包まれる秋を迎えました。JA秋田おばこでは、皆さまが丹精込めて育てたお米を責任をもって販売し、早期完売に努めてまいります。

本年の管内稲作は、例年より雪解けが早くほ場の乾燥が進んだことから、畦畔補修や耕起作業を早期に開始することができました。

田植え盛期は平年より1日早い5月23日となりましたが、期間中は東風が断続的に吹きおろし、一部のほ場で植え痛みや代枯れが発生しました。その後は気温・日照時間ともに平年を上回り生育は回復したものの、田植え時期の早晩による生育差は大きく、その後の生育に影響が残りました。

6月中旬以降は気温の日較差が大きい日が続く、分げつが促進され多くのほ場で莖数を確保できました。



代表理事組合長
齋藤 武志

中干し期間は降雨が少なく例年より早く終えることができましたが、終了後も約2週間にはわたり降雨がなく、一部では軽度の干害も確認されました。さらに梅雨末期の7月末から8月初旬は転じて大雨となり、一部のほ場では浸水被害が発生しました。

生育期間を通じて気温が高く推移したため、ほ場ごとの差はあるものの、全体として生育は平年よりおおむね2日早く進み、出穂期は7月31日頃となりました。田植えの早かったほ場では7月末までに出穂がそろい、田植えが中盤以降となったほ場では8月上旬にかけて出穂しました。

遅れとならないようほ場ごとの稲の黄化状況を十分に確認し、適期収穫に努めていただきますようお願いいたします。

本年も厳しい気象条件となりましたが、玄米品質については現時点で例年並みの水準を確保できる見込みです。生産者の皆さまのためまぬご努力に心より敬意を表します。JA秋田おばこでは、今後も気象変動に対応し、米産地としての実力を維持・向上させるため、技術情報や注意喚起を継続して発信してまいりますので、今後の営農にご活用ください。また、昨年同様、引き続き各

令和8年産米の米価は、昨年の高騰から一転して大きく下落するなど、米を取り巻く情勢は大きく変化しております。こうした中、当JAでは米穀共同計算において、昨年に引き続き各

種交付金をフル活用しながら、主食用米と水田活用米穀（飼料用米は除く）の平準化に取り組むことで、生産者の皆さまの手取り額の確保を図っています。

また、出荷契約いただいた数量を基本として販売計画を策定し、各米卸との商談を重ねながら需要に応じた計画的な販売に努めております。特に令和8年産米は、6月末を期限として取り組んだ出荷契約の有無が、今後の販売計画や生産者手取り額を左右する重要な年となっております。

生産者の皆さまから出荷いただくお米につきまして、は、出荷契約数量を基本に確実かつ計画的な集荷・販売に努め、実需者のニーズを的確に捉えながら産地指定・指定銘柄に対する有利販売を進めてまいります。

高品質・良食味の「秋田おばこ米」の安定供給と産地としての信頼確保に向け、契約に基づき、確実な出荷につきまして、引き続き特段のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

安全衛生管理研修会・安全祈願祭を開催

JAは8月21日、秋作業を円滑にすすめ、作業中の無事故への共通認識を持つことなどを目的に、安全衛生管理研修会・安全祈願祭を大仙市で開催しました。始めに、作業中の事故防止に向けた安全講習会を実施。6S運動を基本とした行動に努めるほか、今年は暑い日が続いているため、施設ごとに熱中症対策を徹底する事を確認しました。続いて、各エリアセンター長から秋作業期間中の労務管理や安全対策、米の集荷対策を報告。藤田義弘副組合長は、「米の集荷はJA事業の根幹です。全職員が共通認識を持ち、安全を最優先に作業に当たってください。集荷目標100万俵の達成に向け、組合員の皆さんとともに喜びの秋を迎えられるよう、一丸となり取り組みましょう」と訓示しました。



▲安全祈願でお祓いを受ける役職員



▲安全管理や集荷対策を報告する営農センター長

米作りは、くらしや環境を

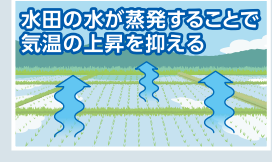
守ることにもつながっています。

お米が食卓に届くまでには、多くの工程が必要です。収穫できるのは基本的には1年に1回。お米はすぐには生産できないのです。

生産者を支えるJAグループの取り組み
お米の種もみ、肥料、機械の提供
高温に強い品種の導入など、高温対策への支援
ドローンによる農薬散布など、スマート農業への支援



米作りを支えることは、私たちのくらしの安心を守ることに繋がります。



耕そう、大地と地域の未来。



JAグループ

テーマ館出店パートナー
JAグループは、GREEN×EXPO 2027のFarm&Food Villageに出店します

©Expo 2027



▲タオルを寄贈した各エリア代表者と施設担当者(右)

女性部
おぼこ発

施設内の環境整備に役立てて 女性部員が タオルを持ち寄り寄贈

JA女性部は8月19日、ボランティア活動の一環で行っている「タオル一本運動」で、ショートステイやすらぎにタオルを寄贈しました。タオルは家庭で余っているものなどを各部員が持ち寄ったもの。3月に続く今年2回目の寄贈となり、各エリアから段ボール箱いっぱいに入ったタオルが集まり、各エリアの部員代表が施設を訪問して手渡しました。寄贈されたタオルは施設内の清掃などで大切に使用されます。



▲新鮮な農産物を販売する盟友

青年部
おぼこ発

「うめもんマルシェ」で対面販売 自慢の農産物をPR

JA青年部は8月22日、秋田県青協が主催する秋田駅前前の買い物広場大屋根下で開催された「うめもんマルシェ」に参加しました。このイベントは、生産者と消費者が直接触れ合い、対面販売を通じて安心・安全な国産農産物への理解を深めてもらうことを目的としたものです。参加した盟友はお揃いのTシャツを着用し、訪れたお客様との交流を楽しみながら、枝豆やトマト、アスパラガスなど、丹精込めて育てた自慢の農産物を販売しました。



▲測定結果を部会員(右)へ説明する担当者

稲作
おぼこ発

サキホコレ葉色測定会 葉色測定で 美味しいお米づくり

サキホコレ専門部会は8月12日と26日、葉色測定会を大仙市で行いました。部会員は穂揃い期を迎えた「サキホコレ」の株稲を持ち寄り、測定した葉色(SPAD値)から玄米タンパク質含有率を算出。稲作指導員は、測定結果をもとに県基準の6.4%以下に収まるよう、収穫時期や水管理について部会員一人ひとりにアドバイスを送り、参加者同士の情報交換も行われ、品質向上と実り豊かな収穫を目指す参加者の熱意が感じられました。



▲えだまめほ場を視察する参加者

園芸
おぼこ発

園芸品目は場視察会 園芸産地の現場を巡り 品目の魅力を学ぶ

仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町、仙北地方農業士会、JAで構成する仙北地域園芸産地共創会議は8月27日、園芸品目は場視察会を開催しました。園芸品目に取り組む農業者の増加と産地振興を目的に開催し、新たに栽培を検討する農業者や就農希望者ら60人が参加しました。参加者は、きゅうり、えだまめ、りんどう、アスパラガス、ねぎ、トマトのJA各部会長のほ場を巡回。各品目の栽培管理や出荷方法などについて説明を受け、実際のほ場を見ながら、品目ごとの特徴や栽培方法への理解を深めました。



▲直売業務を体験する中央会職員

営農
おぼこ発

JA秋田中央会新採用職員JA現地研修 新採用職員を受け入れ

JAは8月24日から28日まで、JA秋田中央会の新採用職員3人を対象とした現地研修受け入れを行いました。主に営農部門の実務を体験し、JA業務への理解を深めてもらうことを目的に実施。研修では、しゅしゅえっとまるしえお客様対応や農産物の陳列を体験したほか、営農指導員に帯同して水稻生育調査を補助。園芸拠点センターではトマトの選果作業にも取り組み、集荷から選果、出荷までの流れを学びました。3人は担当職員の説明を熱心に聞きながら各作業に取り組み、地域農業を支えるJAの役割への理解を深めました。



▲大学野球部員からバットングを学ぶ児童

地域
おぼこ発

第25回JA秋田おぼこ学童野球教室 大学生が熱血指導!

JAは8月6日、地域貢献活動の一環として、管内のスポーツ少年団などを対象に第25回学童野球教室を開催しました。千葉商科大学硬式野球部員らが講師を務め、次世代を担う子どもたちに打撃や守備、走塁など野球の基本を指導。教室には管内5チームから児童120人が参加しました。打撃練習では、大学生が一人ひとりのスイングを確認し、バットの振り方や体の使い方をアドバイス。児童たちは教わったことを意識しながら、力強い打球を目指して練習に励みました。参加した児童は「教えてもらったことを練習や試合で生かしたい」と話しました。



▲施設内を紹介する担当者(左)

介護
おぼこ発

福島県のJA介護事業関係者が視察 利用者に寄り添う 介護事業を紹介

JAは8月20日、JAグループ福島介護福祉事業連絡協議会の視察研修を受け入れました。研修では、「新たな基本理念に基づく、ワンチームとしての利用者への対応」を目指す介護事業について説明。利用者を「お客様」と捉え、一人ひとりが望む生活を継続できるよう支援する取り組みをはじめ、事業経営や運営体制、職員の人材確保・育成などについて紹介しました。参加者からは「職員同士の情報共有や、チームとして同じ目標に向かう組織体制が整っている点が印象的だった。今後の事業運営に生かしたい」との声が聞かれました。



▲政策確立に向け頑張ろう三唱する参加者

農政
秋田県発

秋田県生産者大会 農業政策の確立へ 一致団結

JA秋田中央会と秋田県農政対策本部は8月26日、持続可能な秋田県農業の実現に向けた生産者大会を秋田市で開催し、県選出の国会議員や県議会議員、県内JAの生産者や役員など約500人が参加しました。会では持続可能な農業に向けた具体的な施策や、災害に強い農業づくりへの対策に関する6項目を国会議員や行政に要請。参加者らは、将来にわたり、国民に必要な食糧を生産できる農業を目指し、持続可能な農業を実現する新たな水田農業政策の実現に取り組むと申し合わせ、会場から満場の拍手で採択されました。

病理診断とは、患者さんから採取した組織や細胞を詳しく観察し、病気の特徴や広がりや診断する検査の一つです。診察や画像検査だけでは判断が難しい病気も、病理診断によって病気の性質や進行の程度を評価し、その結果をもとに主治医が治療方針を決定します。

組織診断
組織診断は、手術や内視鏡、生検検査などで採取した組織を髪の毛の20分の1ほどの薄さに切り、顕微鏡で観察する検査です。病気の特徴や広がり、周囲の正常組織との関係まで詳しく評価できるため、確定診断や進行度の判定に重要です。また、切除したがんが完全に切除されているか、近くのリンパ節への転移があるかなども調べ、治療方針の決定や術後の治療計画に用いられます。

細胞診断
細胞診断は、子宮頸部、尿、痰、胸水・腹水、甲状腺や乳腺などが

ら採取した細胞を観察する検査です。組織を採取する組織診断と比べて体への負担が少なく、がんの早期発見や診断、治療後の経過観察などに広く利用されています。病理医と細胞検査士が連携し、細胞一つ一つの形や特徴を詳しく評価することで、正確な診断に努めています。

遺伝子検査
近年では、病理診断で採取・保存した組織や細胞を用いて、がんに関わる遺伝子の変化を調べる遺伝子検査も行われています。検査結果から、その患者さんに効果が期待できる治療薬を選択できる場合があり、一人ひとりの病気の特徴に合わせた治療に役立てられています。

病理解剖
病理解剖は、患者さんがお亡くなりになられた後、ご遺族のご理解と同意のもとで行われる医学的な検査です。病気の広がりや治療効果、亡くなられた原因などを



ドクターの健康クリニック 病理診断科—病理解剖について—

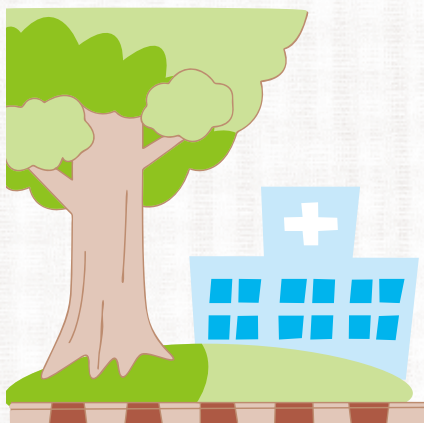
詳しく調べることで、生前の診断や治療内容を検証し、新たな医学的知見を得ることが出来ます。その成果は、医療の質の向上や新しい治療法の開発、将来の患者さんへのより良い医療につながっています。

病理診断科は、組織診断や細胞診断、遺伝子検査、病理解剖を通して主治医と連携し、正確な診断に努めています。これからも患者さん一人ひとりに最適な医療が実現できるよう貢献してまいります。

今月のドクター



大曲厚生医療センター
病理診断科 科長
三浦 将仁 先生



かしわや ひろき
柏谷 博紀さん(83歳)
仙北市西木町西明寺

趣味は…

高校野球の応援です。大曲仙北郡内の高校の練習試合や秋田県高校野球大会には、欠かさず足を運び、選手たちに声援を送っています。

好きな食べ物は…

毎朝欠かさず食べる生たまごと納豆です。

健康の秘訣は…

身体を動かして農作業をすることです。毎日の農作業が健康につながっています。

農作業も高校野球も元気の源

今後の目標は…

これからも元気に農作業を続けながら、高校野球の応援を楽しみたいです。



我が家のニューフェイス

名前の由来は?

私たち家族をつないでくれたように、たくさんの人との「つながり」を大切にしたいと願い、名付けました。



仙北市 田沢湖梅沢
高橋 紘ちゃん(1歳1か月)
令和7年8月2日生まれ
誠さん・泉さんの長男

毎日、成長を見せてくれて、たくさん笑わせてくれてありがとう。これからも家族みんなで仲良く過ごしていこうね！
ママ・パパより

性格は?

何でもやりたがる、怖いもの知らずな性格です。

お気に入り?

タイヤが大好きです。おもちゃの車やバイクのタイヤを、くるくる回して遊んでいます。

チャームポイントは?

前髪です！前髪に巻きつむじがあって、ぴよんと跳ねるところがかわいいです。

和風味のサラダですが、お好みのドレッシングでもおいしくいただけます。



仙北市エリア女性部
鈴木 礼子さん

◆材料(3人分)

- ・摘果メロン(薄切り) …… 150g
- ・きゅうり(薄切り) …… 1本
- ※メロン・きゅうりは薄切りにしてから、塩少々でもみ水分をよく絞る
- ・黄ズッキーニ(薄切り) …… 1/2本 A
- ・人参(千切り) …… 1/4本
- ・新玉ねぎ(薄切り) …… 1/4個
- ・赤・黄ミニトマト(半分に切る) …… 各4個
- ・サクランボ …… 6粒
- ・Aコープ「ほめられ酢」 …… 適量
- ・Aコープ「かつお液体だし」 …… 少量 B
- ※「ほめられ酢」が濃厚なので、少しずつ加えて好みの味に調整する。

◆つくり方

- ① ボウルに【A】の野菜を入れる。
- ② 【B】の調味料を味を見ながら①に加え、全体を混ぜ合わせる。
- ③ 花火をイメージして器に盛り付け、ミニトマトやサクランボを飾り完成！

イチ押し！ カンタンレシピ

摘果メロンの花火サラダ



シャキッとした食感とさっぱり味で見た目も華やかな、花火をイメージしたサラダです。

EINOU INFORMATION

稲刈り終了後から、次年度の稲作は始まります。特に今年は穂数が平年並み以上にあったため、その分、ワラが多いことになり、翌春の異常還元発生の原因となります。異常還元対策は、まずは乾田化を促進です。自身のほ場は秋耕できるのか、秋耕せずに排水・乾田化を優先させるのかの判断が必要ですので、図をご確認ください。また、稲わら分解を促進させる資材が各社より販売されています。これを利用して積極的に稲わらなど有機物を分解させることも検討しましょう。

稲刈り後、早い時期に行ってください。ワラの腐熟には温度が必要なので寒くなる前に終えるようにしましょう。秋耕は5～10cm程度の浅耕です。深く起こす必要はありません。固く締まった田面をほぐしながら、ワラと稲株を混ぜるイメージで行います。

秋耕は浅く行う。稲株が転ぶ程度でよい。ワラの腐熟には酸素が必要。田面停滞水を排水させて乾田化させることがポイントです。

秋作業も始まり、何かと忙しい時期ですが、牛の健康を守るため、できることから取り組みましょう。

あきた総合家畜市場 JA秋田おばこ 子牛販売成績

令和8年8月18日
〈単位:頭・円 価格:税込〉

品種	性別	成立頭数	平均価格	キロ単価
黒	雌	40	802,258	2,683
〃	去勢	43	924,972	2,782
合計		83	865,833	2,737

販売額
上位5頭

性別	価格	エリア名	父	母の父	母の祖父	体重	日齢
去勢	1,100,000	大仙市東部	福勝鶴	華春福	安福久	348	287
去勢	1,100,000	大仙市西部	貴隼桜	美国桜	百合茂	375	308
去勢	1,096,700	大仙市東部	暁之藤	諒太郎	隆之国	368	271
去勢	1,081,300	大仙市東部	暁之藤	勝早桜5	安福久	350	282
去勢	1,049,400	大仙市東部	若百合	美国桜	安福久	368	300

生育状況

今年は6～7月が高温少雨で推移しており、ぶどうの生育は前進傾向です。ただし、成熟具合は品種によるバラツキが大きく、自園地のぶどうの状態をよく確認する必要があります。

収穫時の注意点

収穫開始前に園地を一巡し、成熟状況や日焼け等の障害の有無を確認しておきましょう。障害のある粒は早めに除去しておきます。収穫期の判断は果皮色、香り、糖度などを目安に行います。糖度が高くても酸味が強いと必ずしも良食味とは感じられないので、必ず食味を確認してから収穫しましょう。

日当たりの良い場所から成熟がすすむ場合が多く、数回に分けて収穫することで適期収穫を行います。作業は朝夕など涼しい時間帯に行い、果実温度を上げないようにして鮮度維持に努めましょう。

収穫は、できれば晴天が続いた後に行います。果実や果実袋が濡れた状態で長時間経つと、かび等の病害の発生要因になりますので、降雨中や降雨直後の収穫は避けましょう。

ぶどうの生育管理について

園芸



ぶどうの生育管理について

今後の管理について

棚下が暗いと、果実品質の低下、病害虫の発生、枝の登熟不良等の要因になります。主枝部分に日光が入るように、新梢の誘引や副梢の管理を行います。副梢は葉2枚程度で摘芯し、過繁茂にならないようにしましょう。副梢から孫枝が発生したら、基から切除します。また、赤系品種の場合は果房近くの副梢を4～5本基から切除し、日光が当たるようにして着色を促します。タイベックシート等の反射シートを敷くのも有効です。

縮果症、未熟果、日焼け果、傷果等の障害果は早めに除去します。未熟果は健全果に比べ青く、固く、糖度は極めて低くなります。収穫前に園地を一巡し、障害果の発生有無を確認しましょう。

過着果になつていいる樹では糖度不足になったり、すべての果房が成熟できずに収穫期を終えてしまつ危険があります。枝の登熟不良の原因にもなり、翌年の発芽不良につながる恐れもありますので、今一度、着房数を見直ししましょう。大房になつていいる場合は房数を少なくします。



お問い合わせ先

営農指導課
0187-42-8096

畜産

お問い合わせ先

畜産課
0187-56-2131

昼夜の寒暖差に注意しましょう！

9月になつてもまだ暑い日が続いています。一方で、日中は暑くても夜になると気温が下がり、昼夜の寒暖差に注意が必要です。特に生後間もない子牛や育成初期の子牛は、寒暖差の影響を受けやすいため、体調管理を徹底しましょう。日中の暑い時間帯は牛舎内の換気や努め、新鮮な空気を取り入れるとともに、牛床を乾いた状態に保つことが大切です。

牛床が濡れたまま夜を迎えると、気温の低下に伴って牛床が冷たくなり、牛にとってストレスとなるだけでなく、風邪などの病気の原因にもなります。夕方から夜にかけて牛舎内を見回す際は、牛の様子や牛床の状態を確認してください。牛床が濡れている場合は、新しいもみ殻などを敷き、乾いた状態を保つようにしましょう。

また、牛の元気や食欲がないなど、体調が悪いと判断した場合、早めに獣医師へ相談してください。秋作業も始まり、何かと忙しい時期ですが、牛の健康を守るため、できることから取り組みましょう。

営農情報

稲作



秋耕？乾田化？

稲刈り終了後から、次年度の稲作は始まります。特に今年は穂数が平年並み以上にあったため、その分、ワラが多いことになり、翌春の異常還元発生の原因となります。異常還元対策は、まずは乾田化を促進です。自身のほ場は秋耕できるのか、秋耕せずに排水・乾田化を優先させるのかの判断が必要ですので、図をご確認ください。また、稲わら分解を促進させる資材が各社より販売されています。これを利用して積極的に稲わらなど有機物を分解させることも検討しましょう。

秋耕できるところ

- 排水がよく春耕起に支障がないほ場
- サブソイラ等を実施し水の縦浸透が良好なほ場
- 10月中旬まで耕起し、生わらの腐熟が期待できるほ場

ポイント

稲刈り後、早い時期に行ってください。ワラの腐熟には温度が必要なので寒くなる前に終えるようにしましょう。秋耕は5～10cm程度の浅耕です。深く起こす必要はありません。固く締まった田面をほぐしながら、ワラと稲株を混ぜるイメージで行います。



秋耕は浅く行う。稲株が転ぶ程度でよい。ワラの腐熟には酸素が必要。田面停滞水を排水させて乾田化させることがポイントです。

注目！秋耕できないところ

- コンバイン跡が深く水が溜まっているようなほ場→秋耕で土を練ることによって異常還元が発生しやすくなる。
- 軟弱で浅耕(5～10cm)を保てない圃場→耕深が深いと土中酸素不足により有機物が分解されにくくなる。そして翌春に異常還元が発生しやすくなる。
- 暗渠がなく、排水不良田→春作業に毎年難儀し、土を練ることによって異常還元が発生しやすくなる。
- ノビエが繁茂し種子を落としたほ場→種子を土中に潜りこませることになり、長年の発生原因となる。

へば、なんとす？

- やるべきことは、ほ場を乾かす(乾田化)一択です。
 - ◆明渠を作溝し、田面停滞水の排水を促す。
 - ◆サブソイラを実施し、水の縦浸透を向上させる。

雑草多発ほ場

- ◆乾田化を図り、田面に落ちた種子を発芽させ、翌春の代かきで埋没する。
- ◆石灰窒素を散布しノビエ種子の発芽を促す。

腐熟促進剤で有機物を還す

- ◆腐熟促進剤(根友G等)をワラの上から散布する。
- ◆ケイカルや石灰窒素も腐熟促進効果があります。

ワラ分解促進剤

根友G、根友粒

稲わら分解をする菌のほか、様々な菌の働きで有機物を堆肥化。土壌環境を整えます。

散布量

根友G 20～40kg/10a
根友粒 10～20kg/10a
※無人航空機散布可能



ワラ分解キング

低温時でも稲わら分解に威力を発揮します。ワックス分解菌とセルロース分解菌の働きで稲わらの分解を促進します。

散布量

10kg/10a



新規取り扱い品目

令和9年用肥料農薬資材の注文が始まっています。今年の作柄を振り返りながら、次年の対策を組み立てていきましょう。今回から新たに取り扱いが始まった品目を紹介します。

セイテン

初中期一発除草剤に分類されますが、藻類など表層剥離の長期抑制に期待をしています。初期剤の代わりにも本剤を使用し、発生初期の雑草とカナの発生を抑え、きれいな水面に整えます。その後、通常の一発剤、若しくは中期剤を散布して、後手後手に回りがちな雑草対策を前半で対応できます。



中晩生品種向けの基肥一発型肥料です。登熟期間の長い中晩生品種でも肥料切れが起きないよう、チッソ溶出をコントロールしています。全層、側条どちらでも使用でき、多収品種の実りを支えます。



殺菌剤「ダコール1000」の製造終了にともなう後継剤です。製剤が「顆粒水」となると、基本的な倍率が2000倍になります。使用時は倍率、使用量)をご確認いただくようお願いいたします。



中後期除草剤「レブラス」がギアを上げてパワーアップ。葉齢が進んだ雑草への効果を追求した「ギア」が誕生。配合した除草成分、土の相性の良さで、より大きな雑草も枯らせた。りました。

お問い合わせ先

営農企画課
0187-86-0883

稲刈り終了後、次年作への準備を

アグリマイティー資金 特別金利キャンペーン

キャンペーン期間:令和8年9月1日～令和9年2月26日



農業施設 農業機械 貨物自動車

変動金利
保証料別途

借入金額100万円以上
の場合
貸付後3年間

年1.35%

令和8年9月1日現在

特別金利キャンペーンとは・・・

農業機械や貨物自動車の購入、農業施設を建築する際にキャンペーン期間中にお借入いただくお客様へ金利を引き下げてご融資いたします。

農業機械や貨物自動車の購入、農業施設を建築された場合、本キャンペーンで年2.35%となります。
→さらに・・・借入額100万円以上の場合、JAバンク利子補給により貸付後最長3年間 年1.35%となります。

●キャンペーン商品概要

ご利用いただける方

- 組合員(法人及び団体含む) ●保証機関の保証を受けられる方
- その他JAが定める条件を満たしている方
- 農業機械や貨物自動車の購入、農業施設を建築され、取扱期間中に借入れされた方

お使いみち

- 農業機械の購入資金及び購入に伴う付帯費用
- 農業生産に使用する農業施設の建築資金及び建築に伴う付帯費用
- 農業生産に直結する自家用貨物自動車の購入資金

ご融資資金名とご融資金額

- アグリマイティー資金(事業費の範囲内)

ご注意

- 表示金利は、キャンペーン期間中にお借入された場合のお借入当初の適用金利です。お借入までは、時間を要するため、お申込日によってはキャンペーン期間中にお借入できない場合があります。その場合は、通常金利となります。
- お借入れ後の利率は、原則として基準日の基準金利により、年2回の見直しをさせていただきます。
- 適用金利は、金融情勢等の変化により見直しさせていただく場合があります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。※店頭にて返済額の試算を承っております。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



JA秋田おばこ

JA秋田おばこ

詳しくは下記の融資窓口へご相談ください。

大曲総合支店 ☎0187-63-4343 西仙北総合支店 ☎0187-75-1211 中仙総合支店 ☎0187-56-2005
角館総合支店 ☎0187-54-3151 千畑総合支店 ☎0187-85-4111

※大曲北、協和、神岡、南外、仙北、太田、西木、田沢湖、田沢湖駅前、仙南、六郷支店でご相談いただく場合は事前予約をお願いします。



農業にともなう賠償リスクに備えられる 農業者賠償責任共済

施設賠償

農地や農業施設の
不備による
賠償責任を保障

観光農園ではしごに
不備があり
お客様がケガをした

農作業上の過失による賠償責任を保障

草刈り作業中に草刈り機で
小石をはねて
他人の
車にキズを
つけた



保管物賠償

他人から預かった物に
対する賠償責任を保障

農作業中に操作方法を
誤って他人から借用した
草刈機を損壊させた

生産物賠償

生産物によって生じた
賠償責任を保障

直売所や観光農園で
販売したジャムが
原因でお客様が
食中毒を起こした



生産物回収費用

生産物賠償等にともない
かかった回収費用を保障

出荷した農作物から
基準値を超える農薬の
残留が発見されたため
同時期の出荷品を回収した



※お支払いには所定の要件があります。

安心

幅広い賠償責任を カバー

多くの農業者共通の
4つのリスクに対して
一つの共済で総合保障。

施設賠償
リスク

生産物賠償
リスク

保管物賠償
リスク

生産物回収
費用リスク

シンプル

わかりやすい 共済掛金設定

基準となるのは農地面積と
ご希望の支払限度額のみ。

3つのプランをご用意	3,000万円コース
	5,000万円コース
	1億円コース

簡単

自動継続で 手間いらず

1年で自動継続するため、
面倒な継続手続き等は不要。



※農地面積に変更がある場合等を除く

共済掛金例(共済期間:1年)

●保障金額● 3,000万円 コース	農地面積	0.5ha未満	0.5ha以上 1.0ha未満	1.0ha以上 2.0ha未満	2.0ha以上 4.0ha未満	4.0ha以上
	共済掛金	5,760円	6,950円	8,390円	10,120円	18,610円～

令和7年4月現在

トラクターやコンバインなどの
農機の万一の事故に備えて

自動車共済



農作業中や日常生活の
あらゆる災害からあなたを守る

傷害共済



この資料は概要を説明したものです。詳細につきまちは「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

お問合せは

大曲総合支店: 0187-63-4646
中仙総合支店: 0187-56-2005
千畑総合支店: 0187-85-4111

西仙北総合支店: 0187-75-1211
角館総合支店: 0187-54-3151

26059990001

第18回

人形供養祭

ありがとうございます気持ちを込めて…

どなた様でも
参加できます!

**参加
無料**

豪華賞品が当たる!

大抽選会

楽しいイベント
盛りだくさん!!

変面チンミショー

10:00~

お持ちいただく
お人形さんについてのお願い

ガラスケース、
内蔵電池類などは外して
「お人形さんだけ」をお持ち願います。

とき 令和8年

9/23

秋分の日

受付 9:00~ 神事 11:30~

ところ JA葬祭
虹のホール

エテルナ

大仙市四ツ屋字上百瀬19-1[国道105号沿い]

TEL:0187-88-8674

人形供養祭のお問合わせ先

SFC 株式会社

ジェイエイ仙北葬祭センター

TEL 0187-63-5067

JAバンクからの大切なお知らせ

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。
このたびはJAバンクはお客様へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、
誠に勝手ながらATM・JAネットバンクなどのサービスを一時休止させていただきます。
ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日

すべてのサービスが休止

県内JAのATMとJAバンクアプリ・プラス・
JAネットバンク(法人含む)はご利用可能

2026年	10.11	10.12	10.17	10.18
	日	月・祝	土	日
	一部取引休止 17:30-24:00	一部取引休止 0:00-12:00	全取引休止 21:00-24:00	全取引休止 0:00-8:00

休止する
サービス

JAバンクの
ATM

現金振替機・
コンビニなど提携ATM

JAバンクアプリ・プラス・
JAネットバンク(法人・JAネットバンク)

ジエイベット

秋のしゅしゅまる祭り 収穫感謝祭開催!

新米販売や恒例の当たり付き餅まきなどご家族
で楽しめる企画を多数ご用意しています。

開催日時

令和8年10月

10日(土)・11日(日)

9:00
↓
15:00

楽しさ満載の2日間。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

※イベント内容・出店は、当日の状況により変更または中止となる場合があります。

出荷会員 絶賛募集中

しゅしゅえっとまるしゅに野菜や果物、花きや
加工品など、出荷してみたいという方はお気軽
にご相談ください。会員登録や出荷・清算の
流れなどスタッフが丁寧に説明いたします。

お問い合わせ先

しゅしゅえっとまるしゅ
TEL:0187-73-5194

しゅしゅまるの
Instagramは
コチラ→

理事会だより

第8回理事会
開催日 令和8年8月31日(月)
議案 第1号 犯罪収益移転防止法に基づく取引
のリスク評価書
第2号 規程等の改正
第3号 JA秋田おばこ米穀共同計算委員の選出
第4号 令和8年度「秋田おばこ米」仮渡金の設定
第5号 令和8年度「秋田おばこ米」販売計画
第6号 令和8年度米穀のスポット契約書(主食用米)

監事会だより

第9回監事会
開催日 令和8年8月20日(木)
議案 第1号 JAバンク基本方針に基づく業務執
行体制に関する報告(体制整備モ
ニタリング)
第2号 令和8年度第1回随時監事監査意見書

人事のお知らせ

人事異動(令和8年8月18日付)

藤澤 葵
【新任】仙北支店(期間従業員)
【旧任】総務部 総務課(期間従業員)

9月の行事予定

15日 子牛市場
29日 理事会

概況

(令和8年8月末)

貯金	153,243百万円
貸出金	36,040百万円
出資金	6,784百万円
組合員数(正)	17,492人
(准)	7,710人
組合員戸数(正)	13,917戸
(准)	5,155戸

広報担当のつ・づ・や・き

「タイパ」「コスパ」という言葉を耳にする機会が増え、効率やお得感を重視する時代になりました。便利な一方で、農業には、作物の成長を待つ時間や、手間をかけて丁寧に育てることがあります。また、人と顔を合わせて話したり、地域で支え合ったりする時間も、効率だけでは測れません。少し遠回りすることや、ひと手間をかけることが、心を豊かにすることもあると思います。効率を求めるだけでなく、あえて「〇〇パ」にしない大切なものも、忘れずにいたいものです。